



YNU Connect A community for alumni, students, faculty, staff and friends of Yokohama National University

横浜国立大学 校友会 会報

vol.03

# 校友会会報誌「ALL YNU」第3号!

横浜で学び、  
横浜から飛び立つ



## 横浜国立大学の価値を高めるために

### 長谷部勇一 横浜国立大学学長

横浜国立大学は、実践的な学術を特色として教育と研究を進めています。実践というのは、理論を研究するだけでなく、その応用として現実社会に生かすことを重視することです。現実社会は、常に変化発展しており、特に21世紀以降、科学技術の発展や国際社会の変化は予測不可能な形で進展しています。このような生きた現実を知るうえで、学生時代から経験豊富な卒業生と交流すること(タテの交流)はとても大事なことです。また、現実の諸問題は、経済学や工学など単独の専門分野だけでは解決することが難しく、その解決を具体的に考える上では、様々な

専門分野との交流(ヨコの交流)が必要であり、さらには国際的な視野で物事を考えること(ソトの交流)も大事です。YNU校友会の諸活動は、学部の壁を越えたヨコの交流、さらには国籍を超えたソトとの交流を活発にして、大学における実践性を高めることに繋がると考えています。YNU校友会、各同窓会及び大学が協調して、21世紀のグローバル化に対応し、イノベーションを推進し、実践的に活躍できる人材の育成を進め、未来を切り開く横浜国立大学にしていく所存です。YNU校友会へのご支援、ご協力のほど宜しくお願いします。



HASEBE Yuichi

1954年生まれ。1981年一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了。1984年横浜国立大学経済学部助教授。1990年カリフォルニア州立大学バークレー校客員研究員。1996年横浜国立大学経済学部教授。2008年同大学大学院国際社会科学研究院教授



SUGITA Ryoki

横浜国立大学校友会会長  
日本経済新聞社及び  
公益社団法人日本経済研究センター 参与

ジャーナリスト、新聞経営。1937年長崎県生まれ。1961年横浜国立大学経済学部卒業、日本経済新聞社に入社。同社の代表取締役社長、会長などを歴任

## 横浜国立大学基金への 卒業生寄附金活動に全力を!

### 杉田亮毅 横浜国立大学校友会 会長

横浜国立大学校友会会長として、5月下旬二期目に入りました。一期目は、各同窓会、大学当局との意思疎通に重点をおきましたが、二期目は、大学の改革による内外のYNU評価を大幅に引き上げることに、卒業生全体で応援する体制づくりに力点をおきたいと思えます。文部科学省と財務省が行ってきた大学運営交付金の削減は、世界ランキングを上げようとする大学の経営改革を難しくし、下手をすると、他大学と

の再編統合に追い込まれかねません。大学経営のグローバル化には、外部資金の導入が必要です。校友会は大学が最近つくった「横浜国立大学基金」への、卒業生寄附金活動に全力を挙げたいと思います。約7万人の卒業生が、一人一万円、大学に寄附できれば大きな支援になります。1か月2杯のコーヒー代の節約で、母校が名実共に世界を舞台に活躍出来る人材を輩出できれば、素晴らしい貢献ではありませんか。

## 2 学長・会長 メッセージ

## 4 校友会の活動状況紹介

▶4月19日  
部活動激励会  
課外活動団体激励会

▶5月24/26日  
新入生歓迎イベント  
横浜港ナイトクルーズ

▶6月22日  
新入生歓迎会



## 5

【留学関連情報】

▶11月10日  
若手社会人と留学生・日本人学生との交流会

▶5月15日-20日  
インターナショナルウィーク



▶通年開催  
キャリア教育

## 6-7

▶9月予選、  
11月18日 本選開催  
アプリコンテスト



▶通年開催  
講演会情報



【サークル紹介】  
モダンダンス部  
管弦楽団部



学生幹事会  
Seagullsの活動



## 8

▶2月中旬~下旬を予定  
地域課題実習  
コンテスト

▶随時  
校友会と同窓会に  
よる就職支援

▶7月8日  
IT産業交流会

## 9

横国 Day (ホームカミングデー) ・校友会総会のお知らせ、模擬面接

## 10

卒業生の活躍 森ビル株式会社 代表取締役社長 辻 慎吾  
株式会社タスカジ 代表取締役 和田幸子

## 11

校友会からのご報告 平成 28 年度活動・決算報告/ご寄付いただいたみなさま

## 12

WEB 会員登録/住所変更等のお知らせ



## 校友会の Facebook を開設しました!

校友会主催のイベント情報などを発信する Facebook ページが 2017年6月より開設されました。キャリア教育のためのイベントや社会人と学生の交流会、学生が運営するコンテストの情報など、校友会の活動を積極的に投稿していく予定です。下記の Facebook の登録方法を読んでいただき、校友会 Facebook の登録をお願いします。

**Facebookの登録方法** Facebookに個人のアカウントでログインしていただき、「横浜国立大学校友会」または「@ynu.connect」で検索してください。ページ上部の「いいね!」というボタンを押すだけで、登録が完了します。

## 横浜国立大学基金の ご案内

卒業生・保護者の皆様からのご支援が、  
本学を通して、地域と世界の未来を創ります



基金の詳細は下記 URL からご覧ください。

E-mail: YNU.kikin@ynu.ac.jp

http://kikin.ynu.jp/



横浜国立大学基金  
YOKOHAMA National University Fund

## 平成29年度 校友会の活動のご紹介

### 部活動激励会 課外活動団体激励会

4月19日(水)、本学第一食堂において長谷部学長主催の課外活動団体激励会が盛大に開催されました。当日は23団体(体育系18団体、文化系5団体)41名が参加し、学長、理事、副学長(教育担当)をはじめ部局長、各団体の顧問教員、校友会事務局長等が学生を激励しました。

多数の学生が学長や顧問教員等を囲み懇談し、各団体の代表者が「上位リーグ昇格」や「優勝を目指す」など、今年度の抱負を発表して熱気あふれるものとなりました。

最後に、今年度の活躍と健闘を祈念し会場にいる全員で熱い激励のエールを送り、締めくくりました。



### 新入生歓迎イベント 横浜港ナイトクルージング



5月24日(水)、26日(金)の2日間、横浜港ナイトクルージングが実施されました。参加者は当初予定された定員を大きく上回る約270名が2時間の横浜港ナイトクルージングを楽しみました。船上では学生・家族・友人及び留学生が横浜港の歴史や見どころのガイドに耳を傾けつつ、夜景や友人同士で写真を取り合うなど横浜の夜を満喫しました。

### 新入生歓迎会 @第一食堂

6月22日(木)、第一食堂にて新入生歓迎会を開催致しました。この歓迎会は交流を通して新入生の皆さんを歓迎すると同時に校友会について知って頂き、より身近なものに感じて頂くことも期待して開催致しました。この歓迎会は校友会学生幹事会として初の試みでありましたが、当日は参加者の皆さんは学部を越えた新たな友人に会えてゲームを楽しんだりして、大変盛り上がり、素敵なイベントになりました!



### 留学関連情報

#### 若手社会人をゲストに迎え 留学生・日本人学生との交流会

このイベントでは、「ヨココク、ツナガル。」をスローガンに、留学生を含む現役学生が30代の若手卒業生の方々の生の声を気軽に聞け、真剣に話し合える場を提供しています。2015年度に開始されて以来、延べ約100名の学生が参加しました。

昨年度は横浜・東京で2回開催し、少人数の車座座談会形式で、「社会に出て働く」ということについて、人生観や結婚観などにも触れつつ真剣に語り合い、その後の懇親会も大変盛り上がりました。今年は11月と1月の平日夜に東京にて開催予定です。詳細は校友会Webサイトにて順次ご連絡いたしますので、ご参加お待ちしております。次回は11月10日です!



#### インターナショナルウィーク

留学した自分を想像してみませんか

インターナショナルウィーク2017(留学応援イベント)が2017年5月15日(月)~20日(土)の期間で開催されました。留学を経験した卒業生・現役生による留学の意義を語る座談会、海外留学説明会、留学中の学生と直接話ができるイベント、留学生との交流会、企業から見た留学の意義を知るイベントなど、多数の企画が実施されました。参加者同士の交流会も開催されました。在校生だけでなく、在学生の保護者や県内外から高校生も各種イベントに参加してくれました。一人一人の学生が自分自身の留学について深く考えるよい機会になりました。



### キャリア教育

#### 社会人卒業生も講師を務めます/グローバルに活躍できる人材を輩出するために

主体的なものごとを考え、グローバルに活躍できる人材の育成が求められる昨今、横浜国立大学では教育の質的転換を図っています。その一つが、学業と職業の係りを意識させるキャリア教育です。校友会は、多様な業界で活

躍する卒業生をゲスト講師として紹介し、理論と実践をつなぐ授業づくりを支援しています。

2年前より「まなび座I」(高大接続・全学教育推進センター市村光之准教授)を立ち上げ、昨年度からは「グローバル化と日

本人」(同市村准教授)、「グローバルビジネス実践論」(経営学部 関仁非常勤講師)の2科目を加え、3科目に協力し、グローバル人材育成に努めています。

<下記3講座は全学部生受講可能、2単位>

まなび座  
校友会  
リレートーク  
1年次 春学期

大学での主体的な学びを考える科目「まなび座I」(H27年度より開講)は昨年も好評でした。12名の卒業生をゲスト講師に迎え、学業と職業の係り、仕事と結婚生活の両立、自律的にキャリアを拓くなどのテーマで学生たちと語り合い、熱い議論が交わされました。



グローバル化と  
日本人講座  
2年次以上 秋学期

ビジネスの観点から異文化コミュニケーションを考え、グローバル環境で活躍する下地を作るためH28年度に新規開講しました。欧米、アジア、イスラム圏で駐在経験のある卒業生が登壇し、外国人との信頼関係構築について考えました。まさに校友会の多彩な卒業生人脈が活かされた科目です。

グローバルビジネス  
実践論  
2年次以上 秋学期

世界経済は益々グローバル化が進展しています。本講座では、主要企業の海外ビジネスで活躍した8名の経験豊富な講師による、ビジネス世界の現実、企業活動の実態、海外駐在員のやりがいと苦労話等の体験談から様々なジャンルの実務の世界を肌で感じ吸収することで、将来の職業を選択する一助になるでしょう。

## サークル紹介

平成28年度部活動コンテスト体育系と文化系1位の団体メッセージ。今年度も部活動コンテストを実施します。多くの団体のエントリーをお待ちしております。(詳細は別途ご案内)

### モダンダンス部

<https://ynumd.jimdo.com/>

モダンダンスはよく、創作ダンスと訳されます。作家が言葉に想いを託すように、私たちはダンスを通じて、自分たちの想いを表現しているのです。

部では、ソロ作品から30人近い大人数の作品まで様々な作品を創作しています。夏に神戸で行われる全国大会に向けては、約1年かけて1つの作品を作り上げます。その大会において、一昨年は全国3位にあたる賞を頂き、横国モダンダンス部として13年ぶりの受賞を果たすことができました。またそれに続いて昨年も賞を頂くことができ、2年連続受賞という初の快挙を成し遂げました。今年は、3年目の連続受賞はもちろん、さらなる上の賞を目指し日々練習を重ねています。

また全国大会だけでなく、他大学と合同で行う発表会や、少数作品のコンクール等にも出場しています。それらの1年間の集大成として、毎年3月には横国モダンダンス部の自主公演を行っています。WEBサイトやSNSでも大会報告や自主公演に関する情報を発信しておりますので、ぜひご覧ください。これからも横国モダンダンス部の応援よろしくお願いいたします。



### 管弦楽団部

<http://www.ynuorch.com/>

昨年の部活動支援Project文化系第一位を受賞させていただきました、横浜国立大学管弦楽団です。この場をお借りして、当団の紹介をさせていただきます。

横浜国立大学管弦楽団は、1959年3月に設立された50年を超える歴史を持つ楽団です。年2回の定期演奏会を中心に、各セクション(弦、木管、金打)によるコンサートや、小学校や福祉施設での移動音楽会など、地元横浜を中心に活動しています。団員一同、より良い音楽を創り上げることとお客様と音楽の感動を分かち合うことを目標に、通常練習や合宿などに取り組んでいます。

昨年10月時点で当団は第107回定期演奏会に向けて練習中でしたが、受賞を機により一層気合いが入り本番の演奏の大成功につながりました。来場者数も近年最多の1637名を記録し、運営側も嬉しい悲鳴を上げることになりました。今回の受賞を機に当団に興味を抱いて頂ければ幸いです。次回の演奏会は本年12月に行われます。詳細は当団WEBサイトからご確認くださいませので、ぜひお越しください。写真は前述の演奏会の様子です。



### アプリコンテスト

<http://ynu.yokohama/yac2017/>



今年で4回目を迎え、スマホやタブレットを中心としたアプリの開発力・企画力を競うYAC。IT教育やキャリア支援を目的としていて、昨年は応募人数100人超、企業のスポンサー、IT業界の第一線で活躍する方々の審査など含め大いに盛り上がりしました。計40万円以上の賞金に加え、開発部門のMVPにはシリコンバレーツアーが贈られました。開発部門大賞は、履修管理アプリを制作したチームOrario。MVPに輝いた大川さん(電情4年)はOB同伴のもとシリコンバレーに行き、スマートニュース社、セールスフォース・ドットコム社、グーグル本社などを訪問してきました。「今回開発したアプリに関して様々な貴重な意見をもらえました」と語ってくれました。今年は予選が9月、本戦が11月の予定です。奮って応募してください!

上: 決勝戦発表の様子(@横浜ワールドポーターズ)  
下: SmartNews社(シリコンバレーツアー)



### 講演会情報

校友会は5学部と共催で講演会を5回開催します

教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部 各学部と共催で合計5回開催。視野を拓き世界を鳥瞰し将来の進路や人生を考える参考に、社会で活躍する方を講師にお

呼びします。詳細は校友会ホームページで案内しますが、学生はどの講演会も参加できます。校友会会員証をお持ちの学生の保護者の方も参加できます。

#### 平成29年度開催予定

教育学部	日程・講師・テーマが決まり次第校友会ホームページでお知らせします。
経済学部・横浜経済学会 7/18(火) 16:15-17:45	講師: 坂井豊貴氏(慶応義塾大学経済学部教授) テーマ: 「多数決の使用法と代替案」
経営学部・経営学会 11/7(火) 14:40-16:10	講師: 伊藤邦雄氏(一橋大学名誉教授、一橋大学CFO教育研究センター長) テーマ: 未定
理工学部	日程・講師・テーマが決まり次第校友会ホームページでお知らせします。
都市科学部 平成30年1/23(火)	講師・テーマが決まり次第校友会ホームページでお知らせします。

上: 経営学部・経営学会 講演: 飯島彰己氏(右)  
下: 経済学部 講演: 大泉啓一郎氏



#### 平成28年度開催実績

教育人間科学部 11/25(金)	講師: 新井健一氏(ベネッセ教育総合研究所理事長) テーマ: 「これからの公教育と学校外教育の在り方」
経営学部・経営学会 12/1(木)	講師: 飯島彰己氏(三井物産㈱代表取締役会長) テーマ: 「グローバル化の変質と『現場力』」
経済学部 12/2(金)	講師: 大泉啓一郎氏(日本総研 調査部上席主任研究員) テーマ: 「アジアの未来、日本の未来 今起っていること、起こること」
理工学部 12/6(火)	講師: 笠原伸元氏(旭硝子㈱技術本部企画部 主幹/JMTCエンザイム㈱取締役CTO) テーマ: 「化学企業の概要とその研究所におけるケミカルエンジニアの役割」

### 学生幹事会 Seagullsの活動

#### 学生生活をより豊かなものに

学生幹事会は、学生の視点から校友会企画の発案・改善・運営を行っている団体です。本会には、校友会ならではのネットワークを活用して、様々な分野で活躍する卒業生の方々と関わりながら、自己成長できる機会が多々あります。我々と一緒に学生生活をより豊かなものにしませんか? 興味のある方はぜひ校友会事務局まで連絡下さい。

集合写真: 本部棟前にて



## 地域課題実習コンテスト

### 地域課題実習プロジェクト支援

本学は大学の役割として、従来からの「教育」「研究」に「地域貢献」を加え、現代的課題とニーズに対応した「地域交流科目」を設置し、座学に加え実践力を身に付ける「地域課題実習」が進められています。

昨年は、学生が取り組んだ地域課題実習の成果発表会で参加者による投票による賞の創出が行われました。受賞チームからは「さらに頑張っていきたい」と今後の活動に向けた期待できるコメントもありました。

今年度の「地域実践アワード2017」では校友会からも更なる充実発展のために、校友会賞などを企画して応援していきます。



上:「地域実践アワード2016」先生からの講評  
下:受賞者へセンター長から表彰状授与

## 就職支援活動

### 就職までの道のりをサポート

校友会は同窓会と協力して、1年次から4年次の就職までの道のりをしっかりサポートします。

劇的に変化するこの時代、大学で身に付けた力を社会で発揮するためには、早くから先輩や学外の方の講演や話を聞いて

広く社会を知り、先輩方との交流も経験して、自分が納得した進路を目指すことが大切です。

キャリア教育、外部講師の講演会、個別就職相談、模擬面接など多くのメニューを用意してみなさんを待っています。

1年次	社会人の基本を体感する	キャリア教育 まなび座	自分たちで問題を見つけ、チームで解決策を見出し、発表というプロセスを通じて課題解決力を鍛える
2年次以上	貴重な体験談等からグローバル世界への対応の基礎を学ぶ	キャリア教育	グローバル化と日本人 異文化理解とコミュニケーションを学ぶ グローバルビジネス実践論 主要業界のグローバルビジネスで活躍したビジネスマンによる体験に基づく実践講座
3年次	就職活動実践に備えて	個別就職相談、模擬面接	キャリア・サポートルーム利用がお奨め、模擬面接は別途ご案内
全学年	早くから広く社会を知る	5学部と校友会共催の講演会	視野を拡げ世界を鳥瞰し、将来の進路や人生を考える参考に

## IT産業交流会

### IT業界をめざす学生とIT業界で働くOB・OGの交流の場

IT産業交流会は、IT産業に就職したOBと、IT産業への就職に興味がある、または志望する在校生やITに関連した研究をされていたり、教鞭を取られる先生方の交流の場として発足しました。校友会では2年前より、在校生でITに興味のある学生と、IT産業の一线で活躍されるOB・OGとの交流を活性化し、在校生にはよりIT産業に対して理解を深めてもらうために、またOB・OGは相互の交流のために、優れたインターネットサービスやアプリの企画・開発を競うコンテストを運営してきています。その運営の中で、実行委員会は出場された学生の皆さんから様々な意見

を聞きましたが、もっとOB・OGの方にしっかりとメンターをして頂きたい、関わる時間・機会が欲しい、という話が多く出ていました。

またIT産業は様々な知識やスキルがクロスオーバーする業界であり、業界のトップにも国大の卒業生が多数いらっしゃいますが、卒業生も学部を超えた交流が無く、国大の底力を十分に活用できていない状況でした。

そこで校友会として、学部を超えて卒業生の就職者が多く、学生との交流も持ちやすいIT産業で相互に交流することで、より国大の強みを世の中に発揮できるような場を作っていこうと

いうことになりました。第1回はさる7月8日に、会場をアメリカのIT大手セールスフォース・ドットコム社の東京オフィスをお借りして、国大の卒業生でもあるNTTコミュニケーションズ株式会社副社長の船橋哲也様にご講演を頂いた後、懇親会で多くの卒業生と在校生で交流を深めました。

IT産業交流会は今後半年に1度開催の予定です。今後のご参加に興味のある方は、校友会学生幹事会(seagulls.ynu@gmail.com)までお問い合わせ下さい。ご案内をお送りさせていただきます。

## 第12回 ホームカミングデー／横国Day 開催



「聞こう、知ろう、つながろう横国」

平成29年10月14日(土)

13:00～ 教育文化ホール

イベント: 大学概要説明、グリークラブコンサート、交流会、プライド卒業生文庫表彰式他(予定)

### ホームカミングデーが新しく生まれ変わります!

今年度より、これまで実施していたホームカミングデーは、その趣旨を継承しつつ、名称を「横国Day」として、横浜国立大学からの情報発信を行い、より多くの方に本学を知っていただくためのイベントに発展を遂げます。在学生や保護者、卒業生の皆さま、ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。



WEBサイトでは、順次講演会や催事の内容をお知らせしていきます。  
※各種催しの詳細は右ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先: 横浜国立大学広報・渉外課  
TEL:045-339-3016

#### 【実行委員長挨拶】

横浜国立大学が主体となって、本学の現状や将来を、卒業生はもとより学内外の関係者の皆さまに発信し、本学への関心を高めていただけるように、これまでのホームカミングデーを「横国Day」として衣替えすることになりました。そのため、本学が主催し、校友会と各同窓会には共催という形でご支援をいただく体制に変更しました。また、学生の方々にも、より横国Dayに参加していただくために、10月の半ばという日程にいたしました。

参加者の皆さまと共に、新たな横国Dayの第一歩を踏み出したいと思っています。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

横国Day実行委員長  
泉 宏之 (国際社会科学研究院教授)



#### 横国 Day ウェブサイト

▶ [http://www.ynu.ac.jp/about/project/yokokokuday/h\\_29.html](http://www.ynu.ac.jp/about/project/yokokokuday/h_29.html)



### 就職活動開始前に「現役OB/OGによる模擬面接会」を開催



実際の就職活動では、面接結果が合否判定の重要指標になります。面接に臨むには場馴れが必要です。ここでは個別面接に加えて、ほかでは練習の機会がない集団面接の実践の場も用意し、結果を一人ずつフィードバックしますのでとても参考になります。

また、同日、業界別の相談会もあわせて行います。早めの予約が必要です。

### 横浜国立大学校友会総会のお知らせ

平成29年10月14日(土) 11:30-12:00、教育文化ホール大集会室にて、第3回横浜国立大学校友会総会を開催します。当日は会員はもちろんのこと、在学生の保護者の皆様も参加いただけます。

#### 横国 Day (ホームカミングデー) 同日開催

議事内容は、①平成28年度事業報告・収支報告 ②平成29年度事業計画・収支予算の説明を予定しています。校友会へのご意見いただける貴重な場ですので是非ご参加ください。



森ビル株式会社 代表取締役社長  
辻 慎吾

1960年広島県生まれ。1985年横浜国立大学大学院工学研究科建築専攻修了、森ビル入社。2006年取締役(六本木ヒルズ運営室長兼タウンマネジメント事業室長)、2008年常務取締役、2011年6月より現職。

### 【メッセージ】

## 都市の磁力と人的ネットワークの力で日本の未来を切り拓く

この4月に、50年ぶりの新学部「都市科学部」が開設されました。「都市」をテーマに、文理融合のアプローチによって、未来の都市を担う人材を育成するという理念には、深く共感をしており、今後の発展に大いに期待をしているところです。

「都市」はあらゆる人々の、あらゆる活動の舞台です。世界の人々に選ばれる都市では、そこに集まる多様な人々の交流や協働によって次々と新たな価値が生み出され、集積がさらなる集積を呼んでいます。私はこのエネルギーを「都市の磁力」と呼んでいます。

六本木ヒルズや虎ノ門ヒルズをはじめ、長年にわたって都市づくりを実践してきた者としてつくづく感じるのは、「磁力ある都市づくり」には、学際的な幅広い知見と、ジャンルを超えた幅広い人的ネットワークが不可欠だということです。

「都市の磁力」の根源をなすのは、「人々の力」なのです。

これからも校友会を通じたネットワークの力によって、都市の未来、日本の未来を切り拓いていきましょう。

### 【インタビュー】

## 家事代行のマッチングサービスであらゆる方の幸せをサポートしたい

株式会社タスカジ  
代表取締役

和田幸子

1999年横浜国立大学経営学部卒業後、富士通に入社。慶應義塾大学大学院でMBA(経営学修士号)を取得。2014年より現職。



富士通ではシステムエンジニアとして新規事業のプロジェクトリーダー等を経験し、2014年にシェアリングエコノミーをテーマにしたインターネット上の家事代行マッチングサービス「タスカジ」を開始した和田幸子さんに、事業への思いやビジョン、学生時代のエピソードと学生さんへのメッセージを伺いました。

—「タスカジ」とは？事業内容について教えてください。  
“1,500円からの家事代行マッチングプラットフォーム”というキャッチフレーズで、家事を仕事にしたい個人と、家事を依頼したい個人を結ぶマーケットプレイスを提供しています。女性が家事のためにキャリアを諦めてほしくないという気持ちからスタートしました。

反響が大きく、現在では会員数が1万3千人(2017年6月現在)を超えました。今後はシニア層へのサービスも検討中で、どんな方にも家事サポートを利用いただき、自分の時間を充実させて幸せになっていただきたいと思っています。

—起業のきっかけや事業への想いを聞かせてください。  
共働きで、出産と子育てといった自分自身の課題に直面し、解決に向けて家事代行サービスを利用したことが、起業アイデアのきっかけとなりました。私の目標は、事業によって社会的な課題を解決することですし、それこそが

社会における存在意義だと考えています。

—今後の目標やビジョンは？

社会課題の解決に貢献すること、そして経営者として事業を拡大し企業価値を上げることが目下の目標です。同時に自己の成長は私にとってのキーワードです。たくさんのチャレンジを経験して、一人ひとりが見違えるほど成長できる会社にできればと考えています。

—和田さんの後へ続く学生へのエールをお願いします。

学生の頃は会計士を目指して勉強を続けましたが、方向転換し「会計×IT」のスキルをアピールして就職活動を行いました。タスカジ立ち上げ前にも起業を一度断念したことがあります。挫折経験が将来の自分をつくれます。失敗から多くのことが学べます。小さい一歩を踏み出すことが大切です。ぜひ、多くのチャレンジをしてください。

## 平成28年度活動・決算報告

平成28年度事業報告および決算関係書類については、平成29年5月10日(水)に校友会監事4名による監査で、「適切である」との報告を受け、同5月25日(木)に開催された理事会および評議員会において承認決議されました。平成28年度主な活動は下記のとおりです。

- 1) 「校友会学生幹事会」を立ち上げ、学生目線の活動体制がスタート。
- 2) 「第3回アプリコンテスト」:情報基盤センターとの共催で、企画部門、開発部門で合計40チーム超のエントリーがあった。11月20日(日)に横浜ワールドポーターズにて決勝のプレゼンがあり、優れた作品に恵まれ長谷部学長の参加もあり盛会裏に終了。
- 3) 「YNU CLUB AWARD 2016」:今年度初、大学に登録のクラブ(体育系44団体、文化系48団体)の活動支援の一環として実施。エントリー団体を書類審査により体育系、文化系それぞれ上位3団体を選出し、ホームカミングデーにて、各3団体がプレゼン・パフォーマンスを披露し、会場の聴衆のみなさんの投票で1位から3位を決め、交流会にて表彰状・副賞を杉田亮毅校友会会長から授与。部活の一層の活躍が期待される。
- 4) キャリア教育支援:「グローバルビジネス実践論」等の講座支援、講師派遣

世界経済が益々グローバル化し、海外進出へのスピードを速めている現状から、本講座では様々な業種の主要企業の海外ビジネスで活躍した8名の経験豊富な講師がビジネス世界の現実、海外駐在員のやりがいや苦労等を体験から講義し、理論だけでなく実務の世界を知ることができ好評。

- 5) インターナショナルウィーク:国際教育を推進する留学促進イベントや交流会を支援
- 6) 4学部と共催の講演会の開催:学部生にとってより身近な興味深いテーマで講師を学部と校友会が共催で呼び出して講演会を実施。
- 7) 学生(留学生も参加)と社会人との交流会:横浜と東京で1回ずつ開催

若い卒業生5名がゲストスピーカーとして参加。普段聞きにくい職場環境(出産・育児などプライベートを含む)や仕事のやりがい、苦労話などを学生は車座で先輩を囲んで気楽に聞ける

交流会で、そのあとの懇親会も含めて楽しい交流会を年2回のペースで開催。

- 平成29年度の新たな活動は下記のとおり計画実施中です。
- 1) 5月:同窓会と校友会合同イベントの新入生歓迎「横浜港ナイトクルージング」を5/24と5/26に実施し、留学生をはじめ多くの学生の感動を呼んだ。
  - 2) 6月:「校友会新入生歓迎会」を6/22れんが館で開催。学部を超えて学生同士、先生や若手の先輩とも交流。
  - 3) 7月:産業別交流会第1回として、「IT産業交流会」を実施。
  - 4) 2月:地域課題実習プロジェクト支援:地域実践教育センターが推進の「地域課題実習プロジェクト」の報告会「2017年Award」に校友会賞を提供などで支援。
  - 5) 2月:前年同様、同窓会と校友会合同での「模擬面接会」、就活への重点支援。

### 平成28年度正味財産増減計算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日) (単位:円)

科目	予算額	決算額	増減
【収入の部】			
基本財産運用収入			
・基本財産利息収入	0	0	0
会費収入			
・正会員収入			
・会費収入(学部生・大学院生)	14,710,000	16,660,000	1,950,000
		0	0
雑収入			
・寄附収入	1,000,000	120,000	△ 880,000
・受取利息収入		134	134
・アプリコンテスト収入		520,000	520,000
・その他雑収入		98,200	98,200
雑収入計	1,000,000	738,334	△ 261,666
当期収入合計(A)	15,710,000	17,398,334	1,688,334
【支出の部】			
事業費			
・新入生向け事業	900,000	661,396	238,604
・広報活動費	1,500,000	1,494,003	5,997
・学生対象の事業	2,930,000	2,584,034	345,966
・卒業時の事業	0	0	0
・全会員対象の事業	2,600,000	2,144,652	455,348
・寄付支援事業	200,000	0	200,000
・予備費	1,500,000	1,628,579	△ 128,579
事業費計	9,630,000	8,512,664	1,245,915
管理費			
・人件費	700,000	0	700,000
・事務局経費	2,100,000	1,863,714	236,286
・会員管理費	700,000	574,741	125,259
管理費計	3,500,000	2,438,455	1,061,545
当期支出合計(B)	13,130,000	10,951,119	2,307,460
当期収支差額(A)-(B)=(C)	2,580,000	6,447,215	3,995,794
前期繰越金(D)	16,074,534	16,074,534	0
次期繰越金(C)+(D)	18,654,534	22,521,749	3,995,794

## ご寄附いただいた皆さま

横浜国立大学校友会へのご寄附に対しまして厚く御礼申し上げます。引き続き、校友会へのご支援のほどよろしくお願いいたします。

### 平成28-29年度寄附者御芳名

(平成28年8月から平成29年6月  
寄附金2万円以上掲載可の方のみご寄附順・敬称略)

- |          |         |         |
|----------|---------|---------|
| 1 寺西 昭   | 4 三宅 淳巳 | 7 片瀬 隆雄 |
| 2 山口 惇   | 5 林 孝行  | 8 川添 裕  |
| 3 ルレ 美華子 | 6 石井 勉  |         |

## 横浜国立大学校友会 ホームページのご案内



横浜国立大学校友会では、会員登録の有無にかかわらず、会員の皆さま方へ校友会の各種活動、ご案内をお知らせするためにホームページを開設しています。総会・理事会・評議員会の議事掲載をはじめイベント案内なども行ってまいりますので、下記アドレスをぜひご覧ください。(今後発行する本会報についてもPDFで掲載していく予定です)

▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

## 横浜国立大学校友会 会員サイト 登録のお願い



横浜国立大学校友会では、会員の方々に会員システムへのご登録をお勧めしています。会員システムにご登録いただくことで、会員間での会員検索・連絡、校友会からの各種イベントの案内を受け取ることが可能となります。これから横浜国立大学校友会、ひいては横浜国立大学を盛り上げていくためにも、在学生、卒業生の皆さまのご登録をお待ちしています。

▶ <https://koyukai.ynu.jp>

会員サイトへのアクセスは、  
校友会ホームページのグローバルメニュー  
「会員サイト」→  
右メニュー「サイトへのリンク」をクリック

※既に会費をお支払いになられている会員(新1年生)につきましては、校友会事務局で登録を済ませております。会費お支払いの際、払込票に記載いただいたメールアドレスにID・パスワードが届いていない新入生会員の方については、お手数ですが、下記校友会事務局まで至急お問い合わせください。また、登録内容に変更が生じた場合、随時会員サイトにログインいただき、登録内容の修正を行ってください。

## 横浜国立大学校友会 会員証について



横浜国立大学校友会事務局では、現在会員証を配布中です。会費をお支払い済みの会員(在学生)でまだ受け取られていない方は、下記地図の事務局まで学生証持参の上、お越しく下さるようお願いします。

## 横浜国立大学校友会 会報 ALL YNU 第3号

2017年7月31日発行

- 本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます。
- 横浜国立大学校友会や本会報についてのお問い合わせは下記までお願いします。

編集・発行 横浜国立大学校友会  
連絡先 横浜国立大学校友会 事務局  
TEL:045-339-3177 FAX:045-339-3178  
e-mail:koyukai@ynu.ac.jp

▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

表紙写真：ガーデンネックレス横浜2017開催中の山下公園・世界の広場より(撮影：川添 裕)

